

令和7年度 さつきが丘地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>・当ケアプラザは、青葉区南部に位置し、閑静な住宅街と青葉台駅を中心とした商業地域で構成されている。24自治会町内会(約18,000世帯)から成り、地域福祉保健計画「みんなが活躍し、ふれあいが深まるかがやくまち」をスローガンに、「顔の見える地域コミュニティをつくろう!」「地域の人材を掘り起こし、まちづくりへの参加を促そう!」「高齢者・障がい者を地域で温かく見守っていきこう!」「すべての子ども達がいきいきと育つ環境をつくろう!」を掲げ、子どもから高齢者まで安全に安心して暮らせる地域の実現を目指している。</p> <p>・高齢者人口増加による、介護、医療、リハビリ、生活支援などのニーズがさらに増大することが見込まれている。「介護予防、健康づくり」「介護・医療」「社会参加」「生活支援」「住まい」など、福祉における地域課題を把握した上で、区役所ほか関係機関と連携しながら、地域の身近な福祉保健の拠点として、切れ目のない継続的な支援を行っていく。</p> <p>・増加傾向にある認知症の相談に適宜対応すると同時に、認知症の人やその家族が安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、地域住民とともに</p> <p>チームオレンジの活動を継続し、拡充を目指していく。</p> <p>・高齢・障がいなどの分野だけでなく年齢・ライフステージで分断されない支援を行うため、5職種が各関係機関と協働・連携し総合的な支援を行う。</p> <p>・高齢者をはじめとする地域住民の活動の場を積極的に創出し、孤立化予防、多世代のつながりを意識し、各職種の専門性を活かした事業を展開していく。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
	— 具体的な取組内容 —	
新規	継続	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症に関する自主事業(認知症サポーター養成講座、認知症カフェ開催、介護者のつどい、認知症予防講座開催等)及び「さつきが丘チームオレンジ事業」の継続
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子育てネットワーク連絡会の課題解決に向けて、R6年度に開始した、子育て世代が家族で参加できる事業「パパクッキング～家族みんなでご飯を食べよう～」を継続実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	秋のイベント(さつきが丘地域ケアプラザ秋まつり10月26日予定)など、ボランティアや地域住民の皆様、各関係機関との協働を通じ、活動や交流の機会を創出する。地域に開かれたケアプラザとしての機能を発揮していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	青葉台地区社会福祉協議会、連合自治会、区内他ケアプラザなど、圏域を超えた各団体と協働し、住民の社会参加を促すような企画を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<p>●総合相談は、月100件～200件の多様な相談が寄せられ、個別に対応した。介護保険の申請、更新、区分変更など状況に応じて対応し、急を要する案件については、区役所・医療機関などと情報共有を行いながら支援を行った。具体的には、精神疾患・認知症の本人、家族の支援、急な体調不良による救急搬送、入退院支援、入所施設案内、権利擁護(制度利用案内、あんしんセンター紹介など)、セルフネグレクトが疑われる受診拒否のケースの介護保険申請へのつなぎ、定期的な見守り、民生委員や地域住民からの通報への対応、遠方家族からの支援要請対応など多岐にわたる相談対応を行った。未申請の方で急な対応が必要な場合や、介護保険外の相談に関しては、インフォーマルサービスを利用し支援を行った。</p> <p>●4年目の「チームオレンジ事業」は、毎月1回の勉強会(12月まで9回実施98名参加)及び振り返りの会(6回実施20名参加)を定期的に開催した。2ヶ所で開催している認知症カフェ(ろばカフェ、しらとりカフェ)、更科サロン、さつきハートなど集いの場は、それぞれの場で参加者が定着し、安定した開催ができた。</p> <p>今年度、「認知症サポーター養成講座」を様々な対象に行うという目標を掲げたが、既に、さつきが丘小学校、つつじが丘小学校、谷本中学校、歩こう会(ケアプラザ活動団体)、大成祭典(地元企業)で実施することができた。12月19日青葉台地区保健活動員会、翌2月15日さつきが丘自治会向けの講座開催が決定しており、目標達成できる見込みとなっている。キャラバンメイト、チームオレンジメンバーの積極的な関わりにより、内容の充実した講座を開催することができた。</p> <p>●10月26日開催のさつきが丘CP秋まつりでは、チームオレンジの活動紹介展示、理解促進のための子供向けDVD上映、手作りボランティアによる啓発グッズの展示等を行った。100名を超す幅広い世代の来場者(若い世代の親子づれ(現役世代)から高齢者まで)から認知症に関するアンケートを71枚回収し、分析することができた。</p> <p>●秋まつりでは、あいにくの天候の中100名を超えるボランティアの皆様にご協力頂き、500名超に来所頂いた。登録団体の発表の場としてアトラクション・各種作品展示、青葉台地区保健活動推進員および梅が丘地区保健活動推進員にご協力頂いた健康測定、青葉警察署の交通安全普及啓発コーナー、チームオレンジ活動紹介コーナー、ほっとサロン青葉や和枝福祉会ハトポッポ・ほっと館・花など作業所の作品販売支援などを行った。今年初めて、地域の農家と青葉台南部商店会にご協力頂き、新鮮な野菜を販売。幅広い年代に向けたケアプラザ事業の周知につなげた。</p> <p>●青葉台地区社協に理事として参加し、地域の情報収集と情報発信を行い、民生委員、スポーツ活動推進員、保健活動推進員などと連携を強化した。地区社協、連合自治会、単位自治会の行事に参加・後方支援を行う事で、地域活動の活性化を行った。</p>		

- 5年ぶりとなる地区社協・特別養護老人ホーム避難訓練に協力、福祉避難所連絡会に参加、地域防災拠点の避難訓練に参加するなど発災時の地域連携強化を深めた。
- 青葉台地区支え合いネットワークは、推進会議と統合され、より広い視点から第5期青葉台地区地福計画策定の取り組みを行った。また、従来の目的である地域課題把握のために、幅広い年代を対象とした活動を行っている各種団体から、情報収集を行う事が出来た。
- 青葉スマホ・サポーターの協力を得て、青葉台地区社会福祉協議会と共催で「スマホサロン」を開催。スマホの活用を通して、参加者の所属団体の活動の活性化につながるよう、少人数制で開催する。
- 「クイズラリー」は94名の参加があり、GWのケアプラザ事業として地域に認識されつつある。また、準備段階から小学校、自治会、地区社協、地域施設など、多くのボランティアの協力を得て実施することができた。
- 子育てネットワーク連絡会で抽出された課題解決に向けた事業として「パパクッキング」を、食生活等改善推進委員会および子ども家庭支援課との共催で実施した。普段は交流機会の少ない子育て世代の父親同士のつながりが生まれ、また、年代の異なる子どもを持つ母親同士の交流の場にもなった。
- 「Welcomeあおばまちトーク」は青葉台地域ケアプラザとの共催により、土曜日に開催した。母親の仕事復帰が早まっている状況を踏まえ、今年度は子ども関連事業を土日を中心に企画し参加しやすい環境づくりに努めた。その結果、父親の参加も見られ、未就学児から小学生まで、多様な子育て世帯の交流につながった。

区からのコメント

- ・昨年に引き続き、チームオレンジの多彩な活動を展開していただきありがとうございます。特に毎月の勉強会や振り返りの会の開催支援は参加者の多様な声をまとめながらで、難しい側面もあったかと思います。チームオレンジメンバー主体の活動が継続できるよう、区も一緒に検討を重ねていきたいです。
- ・地区別子育て支援ネットワーク連絡会では事務局として地域の課題の検討から連絡会の開催を通して参加者をつないでいただくネットワーク強化に尽力いただいています。子育て世代は共働きの家庭も多く、現在の状況に合わせて企画を工夫されていると感じています。
- ・支えあいネットワークや地域ケア会議などを通し、住民や関係機関が一体となったネットワークづくりに取り組まれています。今後も引き続き、組織や団体の枠を超えて地域が横につながっていけるよう、働きかけを行ってください。

令和7年度さつきが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	相談を受理した場合、相談者のご意向を十分に聞き取り、有効な情報を一覧にして複数提示し、相談者の自己決定を尊重するよう支援する等、情報提供が特定の事業所や種類に偏らないように、利用者及び事業所に対して中立・公平な立場で引き続き対応する。貸館利用希望者や各種事業の参加希望者が重複あるいは超過する場合であっても、地域の皆様が平等にご利用頂けるよう調整する。	事故防止に関しては、日々の点検でリスクを未然に防ぐ。事故対応マニュアルの周知と研修の実施により事故防止の意識を高める。事故発生時には速やかに対応し、青葉区事業企画に相談、横浜市への報告を徹底する。安全運転講習年2回実施。「個人情報取扱規程」に基づき、職員への研修徹底、個人情報漏洩および紛失防止・保護・適正な取り扱い・適切な情報開示を行う。個人情報保護方針・個人情報取扱特記事項の館内掲示、ご利用者からの問い合わせ等に真摯に対応する。
実績	利用者に対して毎年実施している「公正・中立性に関するアンケート結果」に配慮し、公正・中立な立場で、相談者の自己決定を尊重した支援、情報提供を行った。特定の事業所や種類に偏らないよう常に意識し、相談援助・支援を行った。	事故防止について： 法人内で年2回(交通事故および情報漏洩など)研修を実施。専門家に講師を依頼し、映像を用いたシミュレーション研修を実施。ドライブレコーダーで運転状況の分析を行った。 個人情報保護について： 職員全員に対し個人情報保護研修を行い「個人情報保護に関する誓約書」に署名、横浜市長に提出。 ダブルチェックの徹底など常に緊張感を持って個人情報を扱うよう最大の注意を払った。 法人内で個人情報保護に関する研修を行いケアプラザのみでなく法人として個人情報保護を心掛けている。 「個人情報取扱規程」に基づき、漏洩防止・保護に努めている。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	日々の相談業務・アセスメント・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行い、ご本人ご家族の要望を聞きつつ、自立や強みを生かした支援・計画作成に取り組む。 要支援者の自立支援・介護予防を目指した在宅生活を念頭に、利用者・事業所を問わず公正・中立性の確保を常に意識しながら計画を作成する。 認知症や難病、障害等の要支援者のケアマネジメントにおいても、3職種専門性を活かし、ご本人の意思決定支援、重度化防止、自立支援に向けて支援する。 担当者会議、運営会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会を捉え、関係者や対象者に地域情報・課題を周知する。 広報誌やチラシにインフォーマル情報等をわかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に活かせるよう情報提供を行う。	特定事業所加算Ⅱを算定する事業所として、個別研修計画および計画的な研修計画を作成、ケアマネジメント技術の向上、質の高い相談支援の提供により、ご利用者ご家族が不安なく自立した在宅生活を継続出来るよう支援する。 また24時間の相談連絡体制を確保し、支援困難ケースや緊急サービス利用希望、急な退院調整のご相談など、地域包括支援センターと連携し積極的に受け入れる。 (1)ご利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公正中立な立場で支援を行う。 (2)ご利用者の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けることが出来るよう、心身の状況や環境、ご家族の希望も考慮し、要介護状態の悪化を防止し自立支援に繋がるよう、ケアプランの作成を行う。 (3)ご利用者宅の定期訪問、モニタリング評価により、サービスの実施状況・満足度・効果測定・ケアプラン見直しの必要性について確認を行う。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額  【その他料金】なし	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額  【その他料金】なし
職員体制	管理者 1名(常勤 兼務) 社会福祉士 1名(常勤 専従) 保健師 1名(常勤 専従) 主任ケアマネジャー 1名(常勤 管理者兼務) プランナー 2名(非常勤 専従)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 2名(常勤専従2名) (非常勤専従1名)
契約者数	121件	介護114件 要支援8件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	ご利用者様のQOL(生活の質)向上を図り、可能な限り在宅生活を送る事ができるよう、各種職種職員が連携を図り、レクリエーション・入浴・食事・機能訓練・科学的介護情報システム(LIFE)を活用した生活リハビリ等、質が高く信頼されるサービスを提供していく。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:30~16:30 【定員】35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額  【その他料金】 ●食材費 昼食 730円 おやつ 70円 ●レクリエーション材料費:実費	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額  【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額  【その他料金】
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員:3名(常勤兼務3名) 看護師 :2名(非常勤兼務2名) 機能訓練指導員3名(常勤専従1名,非常勤兼務2名) 介護職員 :10名(常勤兼務4名・非常勤6名) 調理員 :5名(委託業者 非常勤5名) 運転手 :3名(非常勤3名)		
契約者数等	【延べ利用者数】7305名 【契約者数】66名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「さつきが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	15,770,356	1,193,296	16,963,652	16,303,652	660,000	横浜市より
内 受領額	15,770,356	1,193,296	16,963,652	16,963,652	0	
内 戻入額				△ 660,000	660,000	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>	0		0	181,900	△ 181,900	
<b>雑入</b>	21,120	0	21,120	436,054	△ 414,934	
内 印刷代	0		0	60,050	△ 60,050	
内 自動販売機手数料	21,120		21,120	12,504	8,616	
内 その他			0	363,500	△ 363,500	秋まつり祝金186000、模擬店売上166500、買上11000
<b>その他</b>	4,569,105		4,569,105		4,569,105	施設利用料相当額控除、GND控除、施設利用料収支活用
<b>収入合計</b>	20,360,581	1,193,296	21,553,877	16,921,606	4,632,271	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	9,344,897	87,766	9,432,663	10,424,717	△ 992,054	法人本部経費は含めない
内 本俸	8,400,000	87,766	8,487,766	9,648,016	△ 1,160,250	補正：R7賃金スライド調整額87766
内 社会保険料	729,897		729,897	617,468	112,429	
内 手当計	100,000		100,000	44,010	55,990	
内 健康診断費	10,000		10,000	9,347	653	
内 勤労者福祉共済掛金	105,000		105,000	83,078	21,922	
内 退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
内 その他			0	22,798	△ 22,798	
<b>事務費</b>	2,351,120	268,000	2,619,120	2,689,311	△ 70,191	法人本部経費は含めない
内 旅費	30,000		30,000	5,969	24,031	
内 消耗品費	350,000		350,000	319,138	30,862	
内 会議賄い費	50,000		50,000	9,000	41,000	
内 印刷製本費	300,000		300,000	45,136	254,864	
内 通信費	260,000		260,000	179,388	80,612	
内 使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	27,360	△ 6,240	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
内 内 戻入	0		0	6,240	△ 6,240	
内 備品購入費	20,000		20,000	18,993	1,007	
内 図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
内 施設賠償責任保険	50,000		50,000	0	50,000	
内 職員等研修費	30,000		30,000	0	30,000	
内 振込手数料	30,000		30,000	11,297	18,703	
内 リース料	950,000		950,000	0	950,000	
内 手数料	0		0	32,604	△ 32,604	
内 地域協力費	80,000		80,000	450,540	△ 370,540	J14より補填363500し△7040
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	170,000	268,000	438,000	1,589,886	△ 1,151,886	補正：R7物価スライド調整額268000
<b>事業費</b>	500,000	0	500,000	248,273	251,727	法人本部経費は含めない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	200,000		200,000	248,273	△ 48,273	
内 その他	300,000		300,000		300,000	
<b>管理費</b>	7,547,564	0	7,547,564	7,746,873	△ 199,309	法人本部経費は含めない
内 光熱水費	4,903,552		4,903,552	4,756,090	147,462	
内 清掃費	890,000		890,000	884,712	5,288	
内 機械警備費	180,000		180,000	149,964	30,036	
内 設備保全費	1,574,012	0	1,574,012	1,606,405	△ 32,393	
内 空調衛生設備保守	750,000		750,000	799,064	△ 49,064	
内 消防設備保守	38,000		38,000	38,932	△ 932	
内 電気設備保守	200,000		200,000	139,570	60,430	
内 害虫駆除清掃保守	36,012		36,012	36,012	0	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	550,000		550,000	592,827	△ 42,827	
内 共益費	0		0	264,539	△ 264,539	ルート回収
内 その他	0		0	85,163	△ 85,163	
<b>修繕費</b>	474,000	87,810	561,810	561,810	0	予算：指定額
<b>太陽光パネル保守点検</b>	143,000	22,000	165,000	165,000	0	
<b>太陽光パネル修繕（追加）</b>		640,200	640,200	640,200	0	
<b>その他</b>	0	0	0	0	0	法人本部経費は含めない
内			0		0	
<b>支出合計</b>	20,360,581	1,105,776	21,466,357	22,476,184	△ 1,009,827	
<b>差引</b>	0	87,520	87,520	△ 5,554,578	5,642,098	

自主事業費 収入	0	0	0	181,900	△ 181,900	
自主事業費 支出	200,000	0	200,000	248,273	△ 48,273	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	△ 66,373	△ 133,627	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	12,504	8,616	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 8,616	8,616	

※各大大目内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「さつきが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料【包括】</b>	25,855,918	304,234	26,160,152	23,161,967	2,998,185	横浜市より
内 受領額	25,855,918	304,234	26,160,152	26,160,152	0	
内 戻入額				△ 2,998,185	2,998,185	
<b>指定管理料【介護予防】</b>	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
<b>指定管理料【チームオレンジ】</b>	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
<b>指定管理料【生活支援】</b>	6,142,535	0	6,142,535	5,496,277	646,258	横浜市より
内 受領額	6,142,535	0	6,142,535	6,142,535	0	
内 戻入額				△ 646,258	646,258	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】</b>			0	0	0	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】</b>			0	0	0	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】</b>			0	0	0	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】</b>			0	0	0	
<b>雑入</b>	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
<b>その他</b>			0	0	0	
<b>収入合計</b>	32,352,453	304,234	32,656,687	29,012,244	3,644,443	戻入額合計

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	26,677,453	27,234	26,704,687	18,642,281	8,062,406	法人本部経費は含めない
内 本俸	22,745,000	27,234	22,772,234	16,011,650	6,760,584	補正：R7賃金スライド調整額27234
内 社会保険料	2,514,358		2,514,358	2,236,501	277,857	
内 手当計	900,000		900,000	156,133	743,867	
内 健康診断費	35,000		35,000	22,326	12,674	
内 勤労者福祉共済掛金	483,095		483,095	206,832	276,263	
内 退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
内 その他			0	8,839	△ 8,839	
<b>事務費</b>	2,519,000	277,000	2,796,000	3,159,308	△ 363,308	法人本部経費は含めない
内 旅費	55,000		55,000	41,719	13,281	
内 消耗品費	60,782		60,782	115,967	△ 55,185	
内 会議賄い費	35,000		35,000	36,000	△ 1,000	
内 印刷製本費	55,000		55,000	50,108	4,892	
内 通信費	215,000		215,000	267,984	△ 52,984	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	24,960	△ 24,960	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 その他	0		0	24,960	△ 24,960	
内 備品購入費	85,000		85,000	58,080	26,920	
内 図書購入費	15,000		15,000	5,610	9,390	
内 施設賠償責任保険	190,000		190,000	0	190,000	
内 職員等研修費	55,000		55,000	16,436	38,564	
内 振込手数料	10,000		10,000	18,207	△ 8,207	
内 リース料	1,065,218		1,065,218	0	1,065,218	
内 手数料	0		0	20,272	△ 20,272	
内 地域協力費	28,000		28,000	28,000	0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	650,000	277,000	927,000	2,475,965	△ 1,548,965	補正：R7物価スライド調整額277000
<b>事業費</b>	1,154,000	0	1,154,000	901,944	252,056	法人本部経費は含めない
内 協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	40,000		40,000	21,656	18,344	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	203,536	△ 3,536	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	130,000		130,000	18,752	111,248	
内 その他			0	0	0	
<b>管理費</b>	1,876,000	0	1,876,000	2,059,286	△ 183,286	法人本部経費は含めない
内 光熱水費	1,304,428		1,304,428	1,264,277	40,151	
内 清掃費	240,000		240,000	235,176	4,824	
内 機械警備費	50,000		50,000	39,863	10,137	
内 設備保全費	281,572	0	281,572	427,013	△ 145,441	
内 空調衛生設備保守	200,000		200,000	212,408	△ 12,408	
内 消防設備保守	12,000		12,000	10,348	1,652	
内 電気設備保守	60,000		60,000	37,100	22,900	
内 害虫駆除清掃保守	9,572		9,572	9,572	0	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	0		0	157,585	△ 157,585	
内 共益費	0		0	70,320	△ 70,320	ルート回収
内 その他	0		0	22,637	△ 22,637	
<b>修繕費</b>	126,000	23,340	149,340	149,340	0	予算：指定額
<b>その他</b>	0	0	0	0	0	法人本部経費は含めない
内			0		0	
<b>支出合計</b>	32,352,453	327,574	32,680,027	24,912,159	7,767,868	
<b>差引</b>	0	△ 23,340	△ 23,340	4,100,085	△ 4,123,425	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	524,000	0	524,000	397,944	126,056	
自主事業 収支	△ 524,000	0	△ 524,000	△ 397,944	△ 126,056	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

令和7年4月1日～ 令和8年3月31日

施設名:さつきが丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			第1号通所介護・通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,000	5,037	-37	24,000	24,737	-737	83,000	63,951	19,049
	その他	0	0	0	0	0	0	0	15,142	-15,142
	事業・負担金収入			0			0		14,622	-14,622
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0		520	-520
	<b>収入合計(A)</b>	5,000	5,037	-37	24,000	24,737	-737	83,000	79,093	3,907
支出	人件費	1,200	2,098	-898	20,000	16,399	3,601	44,000	45,818	-1,818
	事務費	50	404	-354	1,700	2,058	-358	20,000	19,181	819
	事業費		310	-310	1,000	1,095	-95	14,000	12,576	1,424
	管理費		0	0		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0		0	0			0
	<b>支出合計(B)</b>	1,250	2,812	-1,562	22,700	19,552	3,148	78,000	77,575	425
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>3,750</b>	<b>2,225</b>	<b>1,525</b>	<b>1,300</b>	<b>5,185</b>	<b>-3,885</b>	<b>5,000</b>	<b>1,518</b>	<b>3,482</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業                  3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）                  6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業                  2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児                  4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者                  7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	ケアプラザ広報紙「ひろば」	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ及び福祉保健活に関する情報発信、ボランティアの発掘(募集)等	5:地域	7	年10回ケアプラザ広報紙「ひろば」を発行し、地域に回覧・掲示等を行う。	10	0	10	0
2	秋まつり	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方へのケアプラザの周知。活動ボランティアの活躍の場の提供。地域住民の方々の世代間交流。	5:地域	7	ボランティア、地域住民の協力のもと、10月26(日)に実施。	1	0	500	0
3	登録団体交流会	H28	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	感染症拡大予防を考慮した、新ルールを周知する。	5:地域	7	6月26日(木)に実施。登録団体間の交流と貸館利用ルールの確認及びボランティア活動への参加の促進	1	0	54	0
4	地域子育て座談会	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	青葉台地区に転入してきた親子の地域デビューのきっかけ作り。同年代の仲間作り。	3:養育者及び乳幼児	5	先輩ママさんボランティア、青葉台CP、地域の子育て拠点ラフールと協働し、座談会の企画、運営する。年間3回開催。(6/28 いずみ保育園、11/22 さつきが丘CP、3/7青葉台CP)	3	0	71	0
5	さつき草むしりデー	R2	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	団体間の交流。ケアプラザの環境保全。ちよこボラさつきの活動の周知。	5:地域	7	日頃貸館を利用されている団体からボランティアを募り、「ちよこボラさつき」の指導のもと、ボランティアの皆様と一緒にケアプラザの草むしり、園芸作業を行う。5月18日に実施。	1	0	53	0
6	四季のコンサート	H28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代へのボランティア活動への参加の働きかけ。	5:地域	7	親子向け七夕コンサート、絵本コンサート、冬のコンサートと、季節、聞き手の年齢に合わせた内容のコンサート。(7/6、12/14)	2	0	72	0
7	子育てワイワイ広場	H16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就学前の親子の居場所づくり	3:養育者及び乳幼児	5	親子が予約なしに自由に集える場所。民生委員や地域のボランティアの見守りの中、子どもを遊ばせ、母親にリラックスした時間を提供する。同時に子育ての悩みや問題を受け付ける窓口があることを周知する。	37	0	743	0
8	さつき川柳の会	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	集わなくても参加できる活動の幅を広げ、団体間のつながりを広げる。	5:地域	1	リモートで繋がれる事業として、毎月題目を決めて川柳を募集し、選考委員会が優秀作品を選考。同時に参加者間の人気投票も行う。	12	12	134	134
9	書初め練習講座	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	書道を通じて地域の小中学生の交流の場作りと多世代交流の場を提供する	4:子ども・青少年	5	エリアの小学校の冬休みの課題となる書初を、地域のボランティアを講師とし、指導していただきケアプラザで仕上げる。(1/5実施)	1	0	12	0
10	みんなの学習室	H28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小中学生の学習支援の場の提供	4:子ども・青少年	7	こども家庭支援課、あおばコミュニティテラスとの共催事業。今年度は夏・冬休みに計4日間実施。	4	0	43	0
11	おもしろ科学工作教室	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの余暇支援と自由研究課題への活用 地域の子供の居場所と交流の場の提供	4:子ども・青少年	5	NPO法人おもしろ科学たんけん工房と協働。子供たちに科学の面白さを紹介する実験とL工作を通してモノづくりの喜びを体験。8/8開催	1	0	37	0
12	ガイドボランティア・安心キーパー入門講座	R3	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の障害に対する理解促進のための講座開催。障害分野の見守りボランティアの育成、新たなボランティア活動の提案。	5:地域	7	R3に実施した同講座を踏まえ、8月に2回連続講座を実施。青葉区社会福祉協議会、青葉区基幹相談支援センターほつぷ、青葉台地域ケアプラザと共催。	2	0	34	0
13	初めての包丁研ぎ講座	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域での仲間作り ボランティア活動の場の創出	5:地域	7	地域の包丁研ぎボランティアの方を講師に迎え、家庭の包丁の研ぎ方を学ぶ。(2/20)	1	0	5	0
14	クイズラリー	R3	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	外出の機会の減った地域の方々の外出支援、健康増進、	5:地域	7	4/24～5/7に実施。ケアプラザで配布されたカードに従って、地域の掲示板を巡り、掲示されたクイズに回答後、参加カードをケアプラザに提出する。	1	0	94	0
15	おやこクッキング	R7	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	食生活等改善委員会と共催事業。子育て世代の職員	4:子ども・青少年	5	「食育の5つの力」と朝食の大切さについての講話と親子クッキング体験。9/27に開催。	1	0	28	0
16	いきいき午後茶	H18	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	住民の集いの場の創出	5:地域	7	登録団体粋生きクラブとの共催事業。奇数月の第2水曜日に開催。地域の方々をお招きし、音楽や朗読を楽しみながら、お茶とおしゃべりを楽しむ会。	6	0	157	0
17	手作りコスメを作ろう	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	多世代交流 住民のセルフケア意識の向上	5:地域	4	アロマとセルフケアの講話と手作りコスメの製作を行う。子どもからシニアまで幅広い世代に向けた交流事業。(6/10、7/26開催)	2	0	21	0
18	初めてのポッチャ体験会	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域施設との連携。 ポッチャを通して多世代の交流を行う。 夏休みの余暇支援。	5:地域	7	さつきが丘コミュニティハウスとの共催事業。抽選でペアを総当たり選んで交流を深めていく。登録団体いきいきグループに協力(審判)を依頼。(7/12開催)	1	0	20	0

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
19	ほっぶのつどいinさつきが丘	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のある方(ほっぶ登録者)と安心キーパーの交流事業	2:障害児・者		年3回開催。調理、園芸、外出支援等の他支援プログラムと一緒に企画、運営し、交流を深めていく。	3	0	67	29
20	楽しい朗読講座	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の朗読ボランティアの育成と劇団員の発掘の後方支援	5:地域		劇団さつきの団員が講師を務め、呼吸法、発声の基礎、活舌の練習を行う。秋祭りのアトラクションにも参加。	5	0	56	0
21	歌のつどい	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域での仲間作り音楽ボランティアの育成	5:地域		密にならない距離を保ちながら、キーボードの伴奏にあわせて唱歌、季節の歌を練習する。発声練習、口の体操等も取り入れ、フレイル予防に役立てる。	11	0	251	0
22	脳トレ美文字	R7	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	多世代交流地域での仲間づくり	5:地域		文字に関するクイズとペン習字を合わせた講座。幅広い世代に向けた交流事業。	7	0	88	0
23	よこはまシニアボランティアポイント研修会	R4	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者へ、よこはまシニアボランティアポイントの周知。ボランティア活動への促し。	1:高齢者		65歳以上になった高齢者へ、よこはまシニアボランティアポイントについての研修を開催。地域のボランティア活動の紹介をする。	0	0	0	0
24	ろばカフェ	R6	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザから遠方の方を対象とした認知症カフェの開催	1:高齢者		住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供。認知症等の情報提供と相談受付(年10回)	11	0	114	0
25	しらとりカフェ	H28	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	しらとり台地区の住民を対象とした認知症カフェの開催	1:高齢者		しらとり台の店舗を利用した住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供。認知症等の情報提供と相談受付(年10回)	10	0	73	0
26	介護者のつどい	H19	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の心身の負担軽減、リフレッシュ介護に関する地域や技術を学び、介護者同士の情報交換、交流	1:高齢者		サロン形式の介護者の情報交換、勉強会など。8月と1月を除く年10回開催。毎回6人ぜんこ	10	0	54	0
27	チームオレンジ事業	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の人や家族が住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らすことができることを目指し、援体制づくりを住民とともに行う。支援者の発掘・育成。集いの場の創出。	1:高齢者		認知症支援ネットワークづくりのための勉強会・講演会第一火曜日、全体会の振返りの会第二火曜日に開催している(毎月2回)。勉強会・話し合い、機関誌発行、等実施継続している。	16	0	227	0
28	認知症サポーター養成講座	H27	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の理解促進と担い手の発掘、育成	5:地域		小中学校、一般向けに認知症サポーター養成講座の開催(さつきが丘小学校7月14日、つつじが丘小学校11月10日、谷本中学校6月25日、歩こう会7月14日、大成祭典職員向け11月11日、青葉台保健活動推進委員向け12月19日、さつきが丘自治会2月15日)	9	0	277	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
29	さつきハート	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	認知症の方やその家族、近隣の高齢者などを対象としたスローショッピングの機会、併設のイトコーナーにおける交流の場の提供。	1: 高齢者		チームオレンジ事業。オレンジメンバーと共に、しらとり台のスーパー実店舗を利用したスローショッピングとおしゃべりの場、通いの場の提供。第3木曜日13時30分より月1回の実施。対象者2~3名ボランティアとケアプラザスタッフとともに交流と買い物支援をし継続していく。	10	0	60	0
30	権利擁護講座	H25	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者の権利擁護や成年後見制度に関する理解促進、高齢者虐待防止、消費者被害防止の啓発など	1: 高齢者		講師を招き、権利擁護等をテーマとした講座を開催(年2回)10月30日「認知症予防運動と終活の基礎知識。1月30日「相続の基本、生前贈与(争続回避のポイント)講座。	2	0	30	0
31	わたしノート講座	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発	1: 高齢者		地域住民向けに青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発(年1回)講座開催(2月20日)	1	0	15	0
32	GOGOスマイル健康講座	H25	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	「介護予防普及啓発事業」地域の高齢者が認知症予防・フレイル予防・栄養や歯科オーラルフレイル講座などを受け、健康意識行動を高め地域活動をしながら地域でいきいきと暮らせるような取組を継続する	1: 高齢者		高齢者・地域住民の介護予防のため、口腔栄養運動ハマトレ・フレイル予防・認知症予防に関する講座を実施し、地域におけるアクティブポジティブエイジングを推奨。毎回15人前後参加。	14	0	196	0
33	脳トレハマトレ認知症予防講座	R1	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	認知症予防について地域住民が実践する場を支援。広く地域住民に普及し継続的に認知症について学ぶ講座。チームオレンジ事業。	1: 高齢者		認知症予防・社会参加促進のため、認知症について学び、予防に必要な知識や活動について習得し実践する。	11	0	138	0
34	さつき盆踊りの会	H27	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	元気づくりステーション「盆踊り」はハマトレを実施し、地域住民に健康づくりを普及開発・仲間づくり・場づくりの機会として実施。	1: 高齢者		ハマトレ・盆踊り・フレイル講座・話し合い・仲間づくり・高齢者の孤立化予防を実施。区保健師と連携し後方支援を継続していく。	17	0	164	0
35	歩こう会	H28	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	元気づくりステーション「ウォーキング」を通じて地域でいつまでも歩けるよう、講座や歩き方、ハマトレ、ウォーキングコースの設定など勉強会・ウォーキング実施を継続していく。	1: 高齢者		ウォーキングマップ作り・ウォーキング計画づくり・ハマトレ・健康講座・毎回写真撮影・仲間づくりの場・フレイル予防・高齢者の孤立化予防。区保健師と連携し支援している。	11	0	97	0
36	暮らしの備え「ローリングストックのすすめ」	R7	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	食生活等改善委員会と共催事業。災害時に役立つ食料備蓄の知識を暮らしに活かすための啓発事業。	5: 地域		災害時でもバランスの良い食事が出来るようなローリングストックの紹介とポリ袋クッキングの実習。12/17に実施。	1	0	27	0
37	パパクッキング	R6	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育てネットワーク連絡会で挙げられた課題を踏まえ、子育て家庭を対象に、食育に関する講座と交流の場を設け、支援体制の充実を目指す	4: 子ども・青少年		父親の育児参加を促進することを目的に、食育に関するセミナーと簡単な調理実習を組み合わせた講座。子ども・母親も参加可能とし、家族での体験を通じて食の大切さを学ぶとともに、参加家族同士の交流を通じた地域のつながりづくりをめざす。11/29開催。	1	0	29	0
38	更科サロン	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	誰でも気軽に参加できる集いの場の提供。	1: 高齢者		しらとり台の蕎麦屋実店舗を利用したおしゃべりの会。情報交換や趣味のお話などなんでも話しあえる通いの場。第2木曜日、月一回の開催。	12	0	124	0
39	季節のフラワーアレンジメント	H28	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方々が集い、仲間作り、情報交換を行える場の提供を行う。	5: 地域		年2回実施。(11/7, 12/5) 季節日合わせた、クリスマス、しめ縄を作成する。	2	0	15	0
40	楽しく話そう おしゃべり会	R7	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	おしゃべり会を実施し、出向くことで社会参加や介護予防につなげる。	1: 高齢者		つつじが丘大成祭典でのおしゃべりの会。日頃の悩みや健康について、思い出など自由に話せる通いの場。第3金曜日、月一回の開催としてR7年12月より毎月開始し継続していく。	3	0	38	0
41	スマホサロン	R7	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	会場に歩いて出向くことでのフレイル予防、スマホを利用することにより、参加者の活動連絡を密にできるようにすることで、社会参加促進を目的としている。	1: 高齢者		青葉区まち活パートナーおよび地区社協福祉部の協力を得て、スマートフォンの使用が円滑に行えるよう機能の使用法や注意点の確認を通じて、参加者同士の交流や次年度の計画につながった。	1	0	19	0